

# 新教育の主調

——併せて、海外幼稚園參觀感想——

帝國大學助教授  
文學博士 入 澤 宗 壽

（五月十六日・本協會の幼稚園講演會における講演の主要筆記であります。文責在筆記者）

本日皆様に一般教育上のことについてお話し申し上げ特に又、幼稚園に關する所感をも申述べる機會を得ましたことを光榮に存じます。私自身は幼兒教育者ではありませんが、幼兒教育につきましてもはかなり興味を持つて居ります。此の方面で考へを述べた事もありますが實際に幼兒教育に従事したのではありません。もつとも、家庭では二三人の子供を育てた事はありますが、——私が育てたと申せば家内からも苦情が出るかも知れません。機會があれば私も幼稚園をこさへ度いと思つては居るのですが、なかなか思ふ様にはなりません。新渡部稻造先生がお若い時に「六十歳になつたら幼稚園を作る」と言はれましたが、もう六十歳は遠くに過ぎるようでありますが、なか／＼出來ないやうであります。私も六十歳になればなどは申しませんが、何時か幼稚園をやり度いものだと思つて居ります。「新教育の主調」は

どこにあるか、これは倉橋先生からの出題でありませんが、これに付き私の考へます所を申し述べます。それには新教育の意味の説明を要しますが、短い時間のことでありますから、新教育とは舊教育に對していはれるものとして置きまして、これから特徴を申上げれば舊教育に對して如何なる點を主調とするかが分ります。

### 自己活動

新教育の主な傾向は何處にあるか。皆さんのよくお聞きになります自己活動が主調なり、と云へば答案は満點と思ひますが、單にこれだけでは意味をなしません。もつと説明がつかなくては判断し難いものであります。自己活動とは、つまり、幼兒・兒童・生徒・學生の主觀の活動するよう教育をし向ける事です。これは昔から多くの教育者に云はれた言葉であります。ルツニー、フレールは如何に力説したか、は云ふまでもありません。併しながら教鞭をとる際どうも行はれ難いから、今日に至る迄、これが唱へられるのであります。かなり以前より唱へられる言葉なるに關らず今日尙強く言はれますのは、自己活動といふものが實際教育に於いては却々やり悪いからであります。何故にやり難いかは暫く置き、私は、新教育の中心傾向が自己活動にあることを他の主調から申して見たいと思ひます。

### 作業主義

近年フランスやドイツで作業思想、作業學校、或は勞作主義と言はれるもの、中心を考へますと、矢

張り自己活動が主となつて居ります。フレールベルも御承知のように作業慾といふことをいはれました。それには矢張り自己活動が入つて居ります。今日アルバイシユートレと呼ばれるものは手工的作業が最初の意味で、それを中心として唱へられて來たのですが、これは手工的作業によつて幼児兒童の主觀を活動させることが多いからです。云ふまでもなく、抽象的でなく具體的なのであります。新教育は抽象でなく具體化して來ました。子供が具體性の時代にあるのです。つまり、兒童の自己主觀を中心にしていくために、手工的作業的方面が新教育として力説されて來たのであります。その後作業學校も段々變つてまゐりました。今の意味から出發して兒童の精神作業に至つたのであります。自己活動の方を作業學校でも段々力説するようになったのであります。勿論、作業に連關して遊戲の要素が新教育で強く唱へられ、遊戲の方法でやります。學習、教育を遊戲の形に於てやることはフレールベルで考へても分りますように、自己活動のためであります。遊戲は段々目的を意識して行ふ作業になることは勿論であります。

この作業主義傾向にも一つ、プロジェクト法があります。アメリカに力説される新教育で、——これが日本で流行り出した頃、この講堂で國民教育獎奮會主催の講演會で話をした事がありますが、——今日はその頃教育界で問題になつたに比べて忘れられた嫌ひがあります。本國の米國では一年に何十冊の本が出るといふ程でしたが、實際施設は今日が一等隆盛だと昨年みて廻つて思ひました。プロジェクト法

はドイツの作業思想と獨立にアメリカ中心に起つたものでありますけれども兩者の行き方は似て居ります。最初は具體的作業中心、實際的な仕事の計畫でした。机とか椅子とかを作らせる中に教育徹底をさせようとしたものでありましたが、それが又畢竟兒童をして働かせるために行つたものですが、その思想が段々進むと自己活動を力説する派が出来ます。計畫がある所には目的がある、キルバトリックは目的をプロジェクトに於て重く見て居ります。目的を意識してやれば具體的仕事でなくてもよいではないか、と考へますと、最初の意味が抜けて自己活動力説となり、作業學校思想と同じやうになります。

### 生命 生活

今日、教育上の傾向として又、生命と生活が力説されます。英語のライフ、獨逸語のレーベンの一語に對し日本語では相當する適當の一語がないので言葉から説いたのでは一時間では足りませんからぼんやりと扱ひますが、兒童の生命生活を高調する思想とならば申すまでもなく、兒童中心自己活動を旨とした活動となります。生活即教育といふことはデユキが唱へましたが、兒童生活が直ちに教育と考へる人がありますけれども私共は、兒童の生活は直ちに教育となるものと然らざるものがあるかと考へます。

### 體 驗

兒童生活の力説と類似しまして、體驗といふことはドイツや日本では教育者の力説する方面であります、それが新教育の現代に於ける主調であります。これも亦、畢竟私の申す自己活動の力説となりま

す。體驗といふのは自身が體驗するに違ひなく、主觀が經驗するのでありますから、つまり主觀の力説、即ち自己活動となります。

もう一つ體驗につき考へることは、體驗には智的要素もありますが感情要素が強いものであります。それで次の一項目をなしてもよいと思ふのであります。

### 感情 藝術的要素

新教育はまた此の要素を力説します。これを力説し、中心にして居りますことは智よりも主觀といふこととなります。従來の主知主義に對し感情要素、藝術的要素の力説であります。藝術鑑賞は自己が鑑賞し、主觀が活動します。學問よりは一層主觀的であります。それ故にこれも亦自己活動に立つものであります。劇化は遊戯にも作業にも關係があります。劇をやらせることは一種のプロゼクトであります。舞臺の役割選定、役割は自己が活動しなければ出来ません。新教育の藝術的方面がやかましく云はれ、各科の藝術的要素が力説されます。これ自己活動の主調であります。

### 個性的といふこと

個性解放、個性の自由、劃一に對し個性的にと主調することは新教育の特徴であります。これも自己活動力説で單に個性解放でなく、ウオツシュバーン氏の如く診斷法、治療法を考へ、或はダルトンプランのバーカスト女史のいふ個性のスピードに應じて教育するといふも、個性の自由から出發した事で

あります。個性の自由は自己活動と云つて差支へありません。

### 價值活動

斯うしてみますと單に自己活動許りではないが、中心がそれを追つて居ることは申す迄もありません。所が自己活動の形式に他物が加つた新教育について申したい。私は前から價值活動といふ言葉で新教育の變化を表はして居ります。それは、既に此處に申した生活體驗思想中に含まれるとせられますが、體驗には自己がしみく味ふ、自己が直接觸れる心理的作用と同時に、體驗する内容、體驗するものが大切であります。自己活動の方は體驗作用で、その體驗の内容が考へられなくてはなりません。教育方面から申しますと、價值あるものでなくてはなりません。斯ういふ事が體驗の原理を説く人に考へられて居ります。體驗の内容は智的、藝術的、宗教的であります。文化であります。文化教育學或は教育に於ては文化を考へる傾向になつたのであります。作業主義のケルシエンスタイナーも今日では價值體驗或は文化の方を強く唱へる様になりました。自己活動の力説を止したといふのでありませんが、作業を説く場合にも特に目的を考へ役立つものでなくてはいけないと申します。ガウデイヒは最初は自由精神作業といひましたが、晩年には、作業學校原理を補ふに體驗の原理を以てすべしといつて居ります。體驗の形式のみではなく内容に文化の各方面を考へたのであります。女子教育で有名なガウデイヒシニョレに行くと文化科と名付けては居りませんが、文化科的取扱ひをやつて居ります。合科的に扱ふ

特設の教科であります。特設文化科をつくり文化内容を徹底させるのが原理ですが、國民文化の上からは國民科、郷土文化から郷土科としてもよろしい、國民或は郷土人にとり具體主觀になりますことは自己活動になります。文化を傳へる事によつて文化價值を考へるやうになつたのを示します。これは自己活動を捨て、價值體驗になつたのではありません。自己活動の形式方面のみでなく自己活動で何を扱ふかに想ひ到つたのであります。

その意味に於いては手技は手工といふ名でよろしい。外國では幼児でも兒童でも同じく手工といひます。手工といつたにしても工業學校のようなのを爲る必要はありません。そこで幼児の心身に妨げのない限り、自己活動方面で要求された時に價值體驗をさせたいと思ふのであります。併し、價值から考へて來たものではありません。作業の力説をする時は何をやつても内容は構はぬといふ風に、體驗作用の内容を考へる場合に、價值一方になつて片方があるすとなつては昔に後返りすることになります。今日、いはんや幼稚園に於いて、内容を力説することによつて自己活動を忘れては飛んだ事であります。

#### 海外幼稚園參觀感想

價值内容を扱ふ點ではイギリス、フランスの幼稚園が著しい。凡べての幼稚園がさうだといふのではありませんが、二歳兒級にはモンテッソーリ教具を英國風に、或は佛國風にしたものを使つて居りますが、三四五歳級になりますと保育室に文字や數字の書いたものを掲げてありますから、計算や文字を

教へることを示して居ります。ところがこゝに注意すべきはドイツ、アメリカの幼稚園ではこれは少いのであります。教育見地から見ると日本やアメリカ、ドイツに比べては小學校以下は進んでは居りません。日本で此處まで進んで來たものを保守的なものは眞似る必要はありませんが、英佛の先生方と雖も子供を害ふ事を考へられるのではない。新教育が幼稚園で保姆によつて研究される結果なのであります。大學では、新教育は研究されなくてもやれますが、幼稚園教育では工夫を加へたものでなければやれません。子供と共に遊ぶだけならば工夫も要らぬが子供が字を習ひたがつたり數を數へたりする相談相手になるには、何の程度にするか、子供の力といふものゝ研究も要ることになります。フランスの如く新教育の少い所でも幼稚園の方には新教育の雑誌があります。私は前から、何をして遊ぶか遊ぶすかの中に文字や數のあそびを入れて然るべきだと考へてゐるのです。ドイツの幼稚園、ブランケンブルグのフレibel幼稚園でもそれをやつて居りました。成るべく小學校でなく幼稚園時代に文學・畫・唱歌は勿論、文字や數の或る程度を覺えることは子供の能力を浪費するものではありません。日本の國語がむつかしいと言ひますが假名くらゐならば覺えます。小學校になつて急に教へ始める時に、子供が注意しないで教育がやりにくいといひます。日本では劃一教育で文字を教へておいてはならぬ、小學校で困るからといはれたものですが、困る筈は何うしてもありません。幼稚園で教へておけば小學校で遊んで居てもよいのですから。家庭や幼稚園で覺えて來たならばそれを基礎にして行くとすればよろしいのです。これは小學校の問題ですが。



海外と申しましても英佛の行き方と、獨米のは違つて居りますが、價値活動方面に眼を轉じて然るべきかと思ひます。勿論子供に對し、むつかしい文字を覺えさせるといふのではなく、子供の方から求めて來る場合にはモンテッソリー女史と雖もその「子供の家」では教へて居ります。或る教育では小學校でも教へないことにして居りますが、何時の間にか教へて居る、父兄の要求かといへば、子供が教はりたがるからだといふ。新教育の實驗學校といふような所で申すと、誤解弊害に導く事になるか知れませんが、私のいふのは新教育の主調として價値體驗が入つて來たといふので自己活動を無みするものではありません。私は新教育の主調を考へるのが主で幼稚園の感想を申述べる考へでもありませんが、一般に申すならば、國家が幼稚園教育を中心にして居るのはイギリスです。ドイツ、アメリカ、フランスにしても小學校の一部としてでなく幼稚園教育に非常な努力を拂ひ教育者も努めて居るように見えます。日本でも同じ事、數年前に比べると幼稚園教育の非常な進歩發達です。併しイギリスに比べますと、あらでは社會國家が、町村全體が、これに力を盡して居ります。幼稚園教育が如何に大切なものかは申す必要はありませんが、日本では大學が上に立つて大切な幼稚園教育が下に置かれて顧みられることが少いやうであります。文部省や東京市が如何に注意を拂つて居るかは私は餘り存じませんが、歐米の幼稚園或は教育狀況をみて來ますと、日本の社會國家が幼稚園教育に注意を拂ふところが少いと思ひます。皆さんに申上げるのは、この連中で幼稚園教育の尊重の動議を提出するか、或は教育畑に居ります我々がこの方面に努力したい、と思ふからであります。大體考へて來ましたことを申上げました。新教育の傾向をいろ／＼申上げて、新教育の特徴若しくは主調をお考へになる御參考としたわけであります。